

HOTEL 椿山荘 TOKYO
CHINZANSO

【ホテル椿山荘東京誕生までいよいよあと75日】

文化財やノウハウを活かす「体験型アクティビティ」第二弾

こけだま

伝統に培われた「苔玉づくり」を開始

山縣有朋が愛した日本庭園を30年間守ってきた庭師が侘び寂びの心を伝授

藤田観光株式会社(本社:東京、代表取締役社長:末澤 和政)は、2013年1月1日(火)に誕生するホテル椿山荘東京にて、「体験型アクティビティ」を充実させてまいります。第二弾として、ホテルのオープンに先駆け2012年10月18日(木)より「苔玉づくり」の予約受付を開始いたします。当アクティビティは、国内外すべてのお客様を対象として、毎週木曜日に開催してまいります。

『世界をもてなす、日本がある。』をコンセプトとするホテル椿山荘東京では、敷地内に保有する歴史的文化財やプロフェッショナルな人材、これまで蓄積してきたノウハウを積極的に活用し、ここでしか味わうことのできないさまざまな「体験型アクティビティ」を展開しており、第一弾として9月には庭園内の伝統茶室での「茶道体験」を開始いたしました。

第二弾となる「苔玉づくり」では、山縣有朋公が愛した椿山荘の日本庭園を30年間守ってきた庭師が講師を務め、庭園管理で培われた自然美を演出するノウハウを活かしながら、日本伝統の盆栽の「根洗い」などの体験を通して、日本人の「侘(わび)」「寂(さび)」の心を伝授してまいります。

日本では、苔のある風景が、古くから古色、永劫、森厳、静寂、隠逸、孤独といった情緒を象徴するものとされ、日本人の「侘(わび)」「寂(さび)」の思想や、禅の心と深くかかわっています。

苔玉とは、山野草などの植物の根を土で包み、表面の苔を糸で巻いて固定密着させたもので、その歴史はまだ浅く、盆栽の「根洗い」の技術、樹木の移転での「根巻き」の技術などからヒントを得て応用したものです。「根洗い」とは根についた土を水で取り去る手法のことを言い、鉢から取り出した苗を根洗いし、陶板などに飾って鑑賞することが江戸時代に流行し、現在の苔玉づくりのルーツとされております。

ホテル椿山荘東京では、今後も約2万坪の日本庭園を始めとした文化財・歴史的建造物を活用し、歴史ある文化や芸術に触れるイベントを多数開催することで、お客様に上質な時間をご提供してまいります。

「苔玉づくり」実施概要

日時 : 毎週木曜 10:30～ (約1時間、1ヵ月前より予約可能)
場所 : 宴会場テラス (詳しくはお問い合わせください)
価格 : 6,500円(税込 / 講師料、材料費込)
講師 : 岡安 晃 (1級造園施工技師)
最少催行人員: 10名
内容 : 講師によるレクチャーを受けながら、お客様自身で苔玉を制作します。素材はマツが基本ですが、季節によって変更の可能性もございます。作品は完成後、お持ち帰りになれます。



2013年1月1日、椿山荘とフォーシーズンズホテル椿山荘 東京は「ホテル椿山荘東京」に生まれ変わります
～世界をもてなす、日本がある。ホテル椿山荘東京～

取材に関するお問い合わせ

〒112-8664 東京都文京区関口 2-10-8

藤田観光株式会社 広報担当

小宮山 誠・真田 誠二・北原 靖子・稲田 彩美

TEL:03-5981-7703 / FAX:03-5981-7735

一般の方のお問い合わせ

フォーシーズンズホテル椿山荘 東京

TEL:03-3943-2222 (代表)